

エネルギー補償型 γ 線測定用

シンチレーションサーベイメータ

型式：NHC7

本機は検出器にNaI (Tl) シンチレータを用いた放射線サーベイメータで γ 線・X線の線量当量率を測定することが可能です。

測定値はデジタル／アナログ表示にて確認できます。また、積算線量の測定も可能です。



- 特長 1** **50keVからの γ 線の測定が可能**
50 keV ~ 3 MeV の γ 線のエネルギー補償及び温度変動に対する補償を行います
- 特長 2** **周辺線量当量、積算線量の測定が可能**
DWM方式とG関数補正演算により周辺線量当量(H*(10))と積算線量が測定できます
- 特長 3** **SCA機能(2チャンネル)により核種毎の測定が可能**
標準機能として ^{137}Cs と ^{131}I を測定できます
- 特長 4** **測定したトレンドデータはパソコンへの伝送が可能です**
トレンドデータ(最大1568件)は、USB接続でパソコンに伝送可能です(オプション)
- 特長 5** **持ち運びに便利なコンパクト・軽量ボディ**
本体寸法は、幅116×長さ197.5×高さ116mm(突起部除く)

仕様

項目	仕様値
検出器	NaI (Tℓ) シンチレータ φ25.4×25.4mm
測定線種	γ (X) 線
測定エネルギー範囲	50keV～3MeV (3MeVカットなし)
エネルギー特性	±15% (60～3000keV : ¹³⁷ Cs基準)
測定範囲	線量率 : BG～75μSv/h 計数率 : 0～100000S ⁻¹ 積算線量 : 0～99.999μSv 積算計数率 : 0～99999kカウント
時定数	1s、3s、10s、30s、AUTO切替
指示誤差	線量当量率 ±15%以内 (BG～75μSv/h) 計数率 ±3%以内
方向特性	±20% (0～±90°)
周辺線量当量の測定	DWM方式とG関数補正演算によるエネルギー補正
SCA機能(計数モード)	¹³⁷ Csと ¹³¹ Iの測定等 任意にディスクリレベルを設定可能 (2チャンネル設定可能)
表示方法	デジタル及びアナログ表示 デジタル表示 レンジ自動切替 アナログ表示 レンジ自動切替
その他機能	バッテリー残量表示機能、自動エネルギー校正機能
電源	単3アルカリ電池 (LR6×6本) 連続使用時間30時間以上 単3充電式ニッケル水素電池×6本 (オプション) ACアダプタ (オプション)
使用温度範囲	0～40℃ (温度補償回路内蔵)
使用湿度範囲	相対湿度90%以下 (結露なきこと)
外形寸法	約116 (W) ×197.5 (D) ×116 (H) mm (突起部除く)
質量	約1.6kg (電池含む)

※トレンド機能のご利用には、別途、USB通信ケーブル、ソフトウェア (オプション) が必要です。

安全に関するご注意

このカタログに掲載されている商品をご使用の際には、事前に取扱説明書をお読み下さい。

輸出に際してのお願い：本製品は外国為替および外国管理法の定めにより戦略物資(または役務)に該当する場合がありますので、輸出される場合は同法に基づく輸出許可の確認が必要です。

富士電機株式会社

担当部署：放射線システム部

TEL：042-585-6024

〒191-8502 東京都日野市富士町1番地

ホームページURL：<http://www.fujielectric.co.jp> お問い合わせ：fric-info@fujielectric.co.jp

このカタログの情報は、製品改良のため予告なしに変更されることがあります。

Printed in Japan FOLS 2014.05/3